



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
REGION 9 ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

感謝

理事通信 2023年 6月 特別号

編集 & 発行・西日本区理事事務局

2023年6月12日



ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区の皆さまへ

第26代西日本区理事 田上 正
(熊本むさしクラブ)

第26回西日本区大会参加への御礼

日頃からのワイズダムへのご奉仕に感謝申し上げます。

皆さま、第26回西日本区大会へご参加下さいまして、誠にありがとうございました。

コロナがひと段落したこともあって、多くのワイズメンのご参加を仰ぐことが叶った今大会となりました。

ご参加の方々が笑顔で近況を語り合われているお姿や熱心に登壇者の方々の話に耳を傾けていらっしゃるお姿を拝見しながら、人と人が向き合うことの大切さと喜びをしっかりと感じ取れた2日間でした。

地域で頑張っている若い2人のスピーチに始まり、世界で命を守る活動をされている川原尚行先生のご講演への流れから、今大会のメインテーマである「地域から世界へー私たちが目指す共生社会ー」が発するメッセージを受け止めていただけたならば幸いです。



*

バナーセレモニー、メモリアルアワー、部長報告、事業主任報告、数々の表彰、役員引き継ぎ式など、多くのプログラムを執り行いましたが、いかがだったでしょうか。不行き届きの点が多々あったかと思いますが、ワイズスピリットでお許しいただければ幸甚に存じます。

おひとりおひとりにお会いしてお礼の言葉を申し上げたい気持ちではございますが、先ずは取り急ぎ、書面にてお礼のことばを申し上げます。

本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

感謝

第26代西日本区理事 田上 正

2023年6月11日、退任挨拶の原稿を書きながら、この2年半の思い出をたどりました。退任挨拶から理事通信特別号への原稿は始まります。

私の理事主題は「原点を知り将来に生かす！」に、スローガンは「立ち上がれワイズ モットーと共に！」と致しました。

私は12年前東京に単身赴任し10年間を過ごしました。東京地区でのワイズの集まりには時間が許す限り参加しました。熊本の、九州の、西日本区のワイズを強くしたい思いが強くなってきました。

次期における次次期理事候補になった時、当時の松永英明九州部部长（鹿児島クラブ）が九州部を挙げて応援するとエールをくださいました。当時次期九州部長森律子ワイズ（八代）、当時次次期九州部長今村格ワイズ（熊本）が特別予算を組んで応援すると約束してくださいました。理事キャビネットを組織する時、第20代岩本悟期のキャビネットや区大会実行委員長から貴重なアドバイス以上の協力を受けました。事業主任の決定など当時の西日本区の各部長や会長に協力していただき、2年6カ月前に第1回田上期キャビネットの顔合わせを行うことができました。

1年前の理事引継ぎ式の時、ワイズ活動は自分たちの本業でない奉仕活動であるところに価値があり、YMCAとの協働は活動を日本中、世界に広げてくれること。会員、クラブ、部にはそれぞれの価値観、賜物がありみんな違って良いこと。私たちの活動の根底に流れるもの「弱い者に寄り添い手を差し延べ、愛を以てこれを貫くこと」をお話しさせていただきました。私は私と共に西日本区に奉仕する、キャビネット、事業主任、部長、各委員長、各会長とともにあり、これからの西日本区の進む道を切り開き発展につなげることを誓いました。私は医師としての人生の他に、もう一つの人生を経験してきました。それは決して一人ではできなかったもうひとつの魅力ある人生だったからです。

次期理事期から理事期にかけて、大きな問題にも直面しました。予算や西日本区全体の在り方に関する課題には拙速に審議に入らず、まず協議案で意見を出していただくことを常とし、十分な話し合いの時間を持ちました。年次報告でも言及したワイズ将来構想特別委員会、ワイズYMCAパートナーシップ検討委員会、Youth Action 2022への対応、東西日本区交流員会開催とワイズ25年史の編纂、PortalBuzzへの対応、会費値上げ問題（支出の見直し、JWF規約の改定、西日本区サポートファンドの創設、メネット委員会の設立、法人化への対応）などは、皆様との真剣な話し合いの中で結論が導かれてきたのです。

田上期に奉仕くださった役員や委員会の皆様、事務局員の皆様、西日本区事務所の皆様、各クラブ会長の皆様に感謝申し上げます。キャビネット、事業主任の皆様とは2年以上にわたり苦楽を共にいたしました。九州部各クラブの皆様、熊本むさしクラブ来海恵子会長を始めメンバーには大きな協力をいただきました。



西日本区大会の開催にあたっては、伊藤七海実行委員長、森博之副実行委員長を始め実行委員会の皆様にお世話になりました。光永尚生熊本YMCA総主事を始めYMCAの皆様のご全面協力をいただきました。準備のために睡眠不足が続き「安否確認事件」を起こした上村眞智子書記、ここまでやって来れたのはあなたがいたからです。

この大会で私とワイズとの関わりが終わりになるわけはありません。益々のめりこむのかもしれませんが。

男のロマン（私のわがままと言った方が良いでしょうか？）を決して無視することなく支えてくれた田上かつみメネットに感謝いたします。この大会に参加くださった皆様、今期西日本区を支えてくださった全ての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

ひとこと 男のロマン2

西日本区大会が終わり、次の週に御殿場の東山荘で日本YMCA同盟協議会が開催された。これで出席義務のある第26代西日本区理事としての公式行事がすべて終了した。

メネットに「新しい男のロマンが始まるかもしれない」と言った。「始めたら。その方が頭もしっかりしているかも」の返事。返す言葉もなくその通りかもしれないと思った。

～常任役員編～

— * — * —

直前理事 新山 兼司

第26回西日本区大会（熊本）は、600名を超える多くのワイズメンのご参加により、大盛會に終えることが出来ました。実行委員会の皆様はじめ関係各位に心より感謝を申し上げます。

6月9日は早朝より熊本空港カントリークラブでワイズメンズクラブ西日本区親睦ゴルフ、夜は前夜祭、久しぶりにお会いする皆様に感激、二次会はDBCの大阪茨木クラブのメンバー及び岡山クラブのメンバーと懇親会、6月10日多くの京都トップスクラブのメンバーと合流、夜の寸劇、私の京都奉行姿がトップスLINEに拡散、6月11日、理事引継式の司会に緊張、何とかなりました!!

この3日間、本当に楽しいひとときでした。有難うございました!!



— * — * —

次期理事 深谷 聡

『第26回日本区大会』お疲れ様でした。

見事な会場とプログラムの構成がスムーズで、1年の締め括りに相応しい大会であったと思います。プログラムをどうして、田上期皆様のお顔を感じることが出来ました。それもキャビネットの方々のご尽力と1年間の活動の成果を強く感じる事が出来ました。

区大会会場の熊本城ホールは新しく、雄大な最新の建物に感銘を受けました。懇親会では全国から600余名のメンバーが集まり、ステージから見渡す会場の人垣の多さに西日本区の将来と期待を感じる事が出来ました。



最終日の理事引き継ぎ式は緊張の連続でしたが、皆様のお支えで無事に終える事が出来ました。第26期田上様キャビネットの皆様、九州部の皆様、心より感謝を申し上げます。

次期27回・日本区大会は名古屋で開催されます。今回の熊本大会を参考にさせて頂き、皆様より頂いたエネルギーを大事に一生懸命に中部一丸となり準備させて頂きますので何卒よろしくお願い申し上げます。

田上丸、無事帰港なり！ —*—*—

書記 上村眞智子

田上理事期の最終ゴール「西日本区大会」が幕を下ろして1週間が過ぎました。あらためてご参加くださいました多くのワイズメンの方々へ心から感謝申し上げます。久しぶりの2日間開催大会会場となった熊本城ホールは、知己との久しぶりの再会を喜び合う笑顔溢れる交流の場となりました。

又、会場の内外ではYMCA学院の学生達が精いっぱいのおもてなしの心で皆さま方をお迎えいたしましたが、皆さま方から「ありがとう」の言葉を頂けたことに感激しておりました。今大会は、熊本YMCAとワイズとの協働の場となり、良きパートナーシップが発揮された大会になったかと感じております。若い芽がいつかどこかでワイズと出会い、良き仲間となってくれることを願うばかりです。

前夜祭、役員会、代議員会、そして2日間の区大会本番と次々とスケジュールをこなさねばならず、折角熊本へお越しになった皆さま方と落ち着いてお話をする時間が持てなかったのが残念でした。不行き届きの事があったかと存じますが、ワイズスピリットでお許しただけなら幸いです。

西日本区大会に参加して —*—*—

会計 大崎 隆義

最後は感激で終わって最高でした。ここまで来たのかと、はやかったような気がしました。多くの人の協力と役員・キャビネット・事務局に助けられ楽しい時を過ごせたことに感謝します。前夜祭から盛り上がり、ゴルフも盛況だったし、その流れで1日目朝6時からヤングからシニアまで多くの人々が夫々の役割に全力投球で頑張ってくれ、本当に感謝です。多くの人が感動の涙を流している中において、本当にワイズで良かったと感じたし、熊本城ホールでやれて、すごく良い気分でした。多くの仲間たちに乾杯です。会計はこの後の締めが残っています。きちんと次に引継ぎできるよう頑張ります。

—*—*—

行政監事 古田 裕和

6年ぶりに熊本で行われた第26回西日本区大会、どのような大会になるか期待を胸に会場に入ると、九州部の皆さまはじめ、ユースリーダーや熊本YMCA学院の学生達が大きな声で元気に明るく迎えていただきました。また大きな荷物がある方の荷物を運びながら案内するなど、ホスピタリティーあふれる出迎えに元気をもらうことができました。講演も素晴らしく、会場も熊本城を望むことができる素晴らしい会場だと思いました。懇親会や休憩時間には多くの人たちと思う存分交流することができ、これも大満足でした。また今回沖縄クラブ、沖縄新風クラブの皆さまが、初めて西日本区の一員として参加されたことも西日本区にとっての新たな一歩出会ったと感じました。何より、最優秀クラブ賞ありがとうございました。

—*—*—

財政監事 戸所 岩雄

西日本区大会では、皆様にお礼を伝える機会がありませんでしたので、一言お礼を申し上げます。

私義、2023年6月末をもって理事期をはさみ5年間の西日本区での次期理事、理事、直前理事、行政監事、財政監事の役職を終えさせていただきます。この間、様々な委員会の諸事において多くのメンバーに助けられ、御協力いただいたことに感謝とお礼を申し上げます。

私なりに楽しく充実した時間でした。少し強引な面もあったかと思いますが、ワイズメンズクラブの現状を思っただけのことであつたとお許しください。

ワイズメンズクラブが今後も社会にあってより必要な奉仕団体であり続けられますよう祈念いたします。

～事業主任編～

— * — * —

Yサ・ユース事業主任 清水 淳



初めて参加した区大会は1996年に開催された第2回西副区大会でした。その後各地での区大会に参加しましたが一参加者に過ぎませんでした。事業主任という立場で2日目はほとんどの時間を壇上で過ごし今までとは違う風景を見ることができました。大会運営には役に立てませんでした。1年間部会や周年例会や東日本区大会でアピールさせていただいたことは良い思い出です。

とやまクラブはチャーターから4年間ずっと一人での参加でしたが今回は3名で参加できてました。大会実行委員のみなさん、九州部のみなさん、熊本の学生のみなさんありがとうございました。来年は名古屋でみなさまをお迎えします。

ワイズよかばい！ やっぱ熊本たいね!!

地域奉仕・環境事業主任 伊藤 文訓

ようやく、長いコロナ禍というトンネルを出て、光が煌々と差し込んだ西日本区大会だったなあというのが、第1の感想です。2019-20年度戸所期・私は区会計をさせていただき、英断により区大会中止になった時、残念な気持ちで一杯でした。ですから今期事業主任として大会に参加させていただけたことに、至極感謝しております。

主任としての事業発表を終えたことの安堵感は何よりですが、ワイズ劇団に「長浜藩家老」として初出演させていただけたのが、一番の思い出です。皆様に暴露しますと、田上理事がされた「加藤清正公のあの衣装一式」、実は田上理事ファミリーのお手製なんですよ！。控え室でそれを見た時、どんな衣装より素敵で輝いて見えました。

理事引継式の退任挨拶で田上理事からかつみメネットへの感謝を述べられ、一瞬男泣きを見せられた場面は、これこそワイズだなあと、私もこみ上げる気持ちを抑えられませんでした。

伊藤七海実行委員長をはじめ、九州部・オール熊本のワイズメン・そしてYMCAリーダー・ユースの皆様！心から感謝です。～もうごつよかった！ 熊本たいがよかった！！～



思い出の地・熊本 — * — * —

EMC事業主任 塚本 勝己



今回の大会は、金曜日のゴルフから参加。早朝スタートだったので空港まで迎えに来て頂き、プレーを楽しんだ後は前夜祭に参加。その後3次会まで！優勝は逃しましたが、ゴルフ、楽しかった！

大会当日は皆さん朝早くから準備に取り掛かれ、役員会・代議員会、午後から大会と、本当にお疲れさまでした。2日目のEMC事業主任報告、上手く出来ました！ 大会全てが心の籠もった良い大会でした。田上理事の最後の挨拶！感動でした！『きなっせ熊本！』、本当に行って良かった。

九州の皆様、運営に携わっていただいた熊本の皆様、本当にありがとうございました。お世話になりました。次は名古屋で会いましょう！

西日本区大会を終えて —*—*—

国際・交流事業主任 小田 哲也

1年間の活動の集大成である西日本区大会。各クラブの素晴らしい活動に光を当てる場である。どのクラブも趣向を凝らし、対象者に喜ばれる活動をなさっていた。表彰クラブを選考する過程で、各クラブの活動を深く知ることができ、多くのことを学び、感動できた1年となりました。

事業主任報告は、キャビネットで何度もリハーサルをしたにもかかわらず、各クラブの良いところをきちんとご報告できなかったかもしれないが、素晴らしい活動をされているということが伝わっていれば嬉しく思います。

今大会では、京都ウェルクラブと鹿児島クラブのDB締結式が、キャビネット並びに鹿児島クラブのDBCである宝塚クラブの同席のもと開催され、ワイズメンズクラブの醍醐味である「交流」がさらに広がる兆しをみせ、次期はより幅広い交流が期待できるようです。コロナ明けで久しぶりの100%対面での大会！本当に楽しかったです。1年間、本当にありがとうございました！



～部長報告編～

—*—*—

中部部長 山内 ミハル

現在会員数8名の金沢クラブでは、出かけるときはメネットさんの同伴が必要な高齢順位No. 1、No. 2のワイズ二人とNo. 5の私（山内）の合わせて5人が、西日本区最北端の金沢から最南端の九州・熊本まで、体力を考えて空の旅（小松空港から羽田乗り換えで熊本空港まで）を楽しむことにしました。久しぶりの対面での大会は旧知の方々との出会いと充実した内容の大会となり、「参加してよかったねえ。いい思い出が出来た。」と未だ感動冷めやらぬ余韻の中での日々を送っています。そして、この楽しさをもっと多くの方々と分かち合うため、今一度会員増強に力を入れたいと、参加者一同ひそかに決意を新たにしているところです。



第26回区大会に参加して —*—*—

びわこ部部長 林 宏一

田上理事を始め、西日本区の事業主任、部長、監事、事務局、事務所、事業委員会、担当主事、チャプレン、大会のお世話をいただいた九州部の皆様、参加メンバー各位、一年間本当にご苦労様でした。改めてワイズダムへのご奉仕に感謝申し上げます。



区大会の最後では、みなさんがおっしゃるように図らずも眼から水が出てしまいました。振り返れば、区の役員会ではいつも二日酔いの私でしたが、区大会の後は博多で呑み会・カラオケに参加し、月曜日まで酔っ払いでした（懲りない奴よのう）。

ワイズよかばい！ 熊本よかばい！ *—*

京都部部長 石倉 尚



バナーセレモニーでは田上理事を真ん中に、20クラブの会長とバナーが横いっばいに並び声援を受け、会長と共に1年の労いを感じました。部長報告では、八代クラブの守田ワイズに大変お世話になり、無事に報告が出来ました。表彰式では、最優秀クラブ賞に京都部からトゥービークラブとグローバルクラブの大活躍を田上理事のご英断で、2クラブの受賞に感謝です。

引継式の後、いよいよ理事の退任のご挨拶です。優しく話される一言一言に、2021年11月の次期役員研修会から今日までの

ことが思い出されました。あ～、いろいろなことがあったなあ……。感無量です！

今期に部長を務めさせていただき幸せであったと思います。最高の熊本西日本区大会でした！ワイズよかばい！ 熊本よかばい！ 皆様ありがとうございました。

ほっとしました！ —*—*—

中西部部長 福島 眞一

西日本区大会が終わって、達成できて良かったとほっとしています。

中西部の長老で今大会時に奈良傳賞を受賞された谷川寛ワイズにお祝いを伝えに行った時、「あなたの発表は大変良かったよ、特にハーモニカの演奏がバックで流れていたのが良かったよ。」と褒められました。他の先輩方からも、「1年間、ご苦労様でした。よく頑張ったと思いますよ。」との言葉を頂きました。頑張ったかいがあったと。

この1年間、「楽しい！」と“コミュニケーション”をキーワードとして運営出来たことは、皆さんのおかげだと感謝申し上げます。ありがとうございました。これからもワイズのために尽力していきます。



—*—*—

六甲部部長 若林 成幸

「ワイズよかばい！ きなっせ熊本」の威勢の良い掛け声に惹かれ、再建なった熊本城（本丸）と第26回西日本区大会の余韻を楽しんでいます。前夜祭から始まった一連のプログラムに、理事はじめ実行委員皆さまの工夫と洗練された演出があったことに敬服しています。本当にご苦労さまでした。

私にとって初体験となる六甲部部長、2021年11月の次期役員研修会にはじまり最後の代議員会までの1年半は、私の20年に亘るワイズ生活の集大成との思いでもありました。役員会や研修会は懸命の思いで参加し、各役員の人となりやそれぞれがお持ちのワイズ観を得るべく交流に努め、それを糧にして部や自クラブのプログラム展開に独自カラーの表現を試みました。ある意味で身勝手な、良く言えば自己実現がかなった貴重な時期を過ごさせて貰ったと思っています。

そして幸運なことに、我が宝塚クラブは、理事表彰として優秀クラブ賞（地域奉仕・環境事業最優秀クラブ賞）と最優秀ブリテン賞という願ってもない名誉を与えられました。この経験と感激は生涯忘れることはない宝物となるに違いありません。これからもYMCAをサポートし、ワイズの発展のために微力を捧げたいと思います。心からの感謝を込めて。



感動のすばらしい西日本区大会を有難うございました。理事・キャビネット・関係者の皆様にご心から感謝いたします。準備は大変だったことと思いますが、実行委員長をはじめとして若い力を結集してのチームワークに、これからのワイズの力、希望を感じました。オープニング・スピーチ、講演は、考えさせられました。仕事を通しての人生とは別のもう一つの人生をワイズで与えられたという理事の言葉に納得、ワイズに入っていてよかったという喜びを感じました。良き友、仲間ができて親しく交われることの幸いを改めて思いました。緊張の中にも 時々入る理事のユーモア 絶妙なバランスのうちに 引き締まった大会がなされたことに敬意を表します。部長として、一年間本当にお世話になりました。有難うございました。

役得を壇上で思う！ —*—*—

西中国部部長 金子 敏郎

今日、6月18日、あの涙のワイズメンズクラブ西日本区大会の感激から1週間が経過。あの日を思い出しながら、これからの大会へ提言となればいいのかと思いつつペンを走らせる。(実際にはキーボードを叩く) 私たち西日本区の役員は壇上から、事業報告・役員引き継ぎなどを経験することができた。そうすると壇上からは参加者席の様子がよくわかる。

◆1日目。参加者は全部で630人くらいとのこと、そのほとんどの人がいたのでしょうか。壇上では、理事や部長・主任の熱の入った報告が展開され、席からは大きな拍手も。部長発表の時の私はステージの控えて他の部長の発表を聞くことになるのであるが、場所柄、内容はよくわからない。9部の発表総時間は約1時間、聞いた後にどれだけの話の内容が記憶されているのだろうか？

◆2日目。1日目の参加者はどこへ？ どうも、空席が目立つ。偶然ながら、壇上から席に向けた記念写真を撮影することができた。役得で、公式カメラマンとは違う方向からの写真だ。今、原稿を書くために写真を見直すと空席が目立ったが、会場は1800人収容の規模。(キャプション：写真は2日目の11時ころ、感激で涙の止まらない壇上だった！) この状況を知りつつ、今後の大会を運営されることを祈るところです！



2日目の11時ころ、感激で涙の止まらない壇上だった！

区大会実行委員会にメンバーとして参加して

九州部部長 今村 格

第26回西日本区大会は多くの感動を残し、盛会の内に終了した。西日本各地から、また、日本全国はもとより遠くは海外からの参加者も得て、熊本の魅力発信にも一役買ったイベントとなった。ワイズ活動に限らず、ボランティア団体の活動は社会に多くの利益をもたらすが、その限界も存在する。まず、今回のように大きなイベントを行う際、一部のメンバーに過度の負担が掛かることとならざるを得ない。過去にも大きな記念例会等を成功裏に終わらせた後で、いわば燃え尽き症候群の様相を呈して活動が停滞した事例もある。ワイズの活動は、メンバーにとっては「サードプレイス」であるべきだと思われるが、大きなイベントを完遂するためには、一時的にせよ金銭的報酬のない「セカンドプレイス」とならざるを得ない。「人はパンのみにて生きるにあらず」ではあるが、「人はパンなしには生きる能わず」もまた真実である。今後の課題であるが、ワイズ活動は真のボランティア活動である以上、働きに対する金銭的報酬を求める人はいないが、それに変わる心理的報酬(?)として、せめて、大会会場で実行委員会のプロジェクトリーダーを壇上に招いて、労をねぎらうプログラムが必要であったのではと考えている。

常置委員会～委員長編～

— * — * —

JWF管理委員会 川本 龍資

大地震からの復興を遂げられた、新しい熊本での大会を肌で感じました。大会テーマに沿ったスピーカーの選出、前夜祭を含めた全ての会場を徒歩圏内でまとめられるなど、大会実行委員を始めとする全ての人による準備段階からの周到な企画・計画によって実現なされたことに、心からの感謝と敬意を申し上げます。交流も存分に楽しませていただきました。

次年度27回大会開催地であるワイズメンの一員として、とても勉強になったと共に、うかうかしてられない気持ちを芽生えさせていただきました。感謝！

感動の西日本区大会！ *—*

ワイズリーダーシップ開発委員会 鵜丹谷 剛

熊本の地での第26回西日本区大会、本当に素晴らしい大会でした。感動しました！全てのプログラム、あらゆる場面の中で、田上理事の方針と想いがぐっと詰め込まれ、まさにこの一年の集大成といえる大会であったと思います。そしてそれを見事に体現された大会実行委員の皆さま、そして一丸となって支えてこられた九州部皆さまの熱い思いがひしひしと伝わってきました。

大会までの道のりは本当に大変であったとお察しいたしますが、ワイズらしく、YMCAとのパートナーらしく、まさに我々の原点を感じる大会であったとおもいます。笑いあり、涙あり、感動ありの2日間ありがとうございました！

— * — * —

広報・情報委員会 大槻 信二

大会前日9日に入熊し、熊本五福クラブの亀浦ワイズと夕食を共にしましたが、何時もとは異なり、一滴のアルコールも口にしません。聞いてみると翌日からの大会の同時中継を担当しておられ、食後はそのYoutube同時中継の調整が残っており、夜なべ作業となる可能性があるという事でした。翌日、Lineで連絡がありやはり、朝まで作業をされたとの事でした。早速、広報・情報委員会として西日本区のFbその他に、同時中継されている事のアピールを、1日目・2日目に亘って実施させて頂きました。熊本の多くのメンバーが、支えて頂いた区大会に感謝致します。

第26回西日本区大会の感想 — * — * —

区報編集委員会 三浦 克文

第26回区熊本大会には諸事情により6月10日（土）のみの参加となりました。「地域から世界へ 共生社会」では「あかちゃんポスト」、「トナリビト」、「ロシナンデス」は学ぶことからスタートとなり、緊張いたしました。東西両区交流会もしかり、記録写真を撮りながらワイズメンズクラブ活動の在り方を思い起していました。参加して教えられた数々と田上理事の思いを込めた大会に感動しました。ありがとうございました。どのような時でも参加しなければ知りえないことが多々あることを改めて教えられました。2日目は参加できないことに後ろ髪を引かれつつ最終の「みずほ」で帰宅しました。



西日本区大会に参加して —*—*—

組織検討・安全対策委員会 遠藤 通寛

沢山の仲間と会うことができる大会、東日本区のメンバーにも会うことが可能であることも楽しみの一つです。お世話をしていただいた皆様、ありがとうございました。YMCAの皆様の働きが特にお目につきました。本当に良い関係にあるのだと感じました。

私自身は、田上理事の最後のスピーチでもらい泣きをしてしまいました。良かった、良かった、そんな熊本での西日本区大会でした。皆様お疲れさまでした。阪和部でこんなに盛大な西日本区大会はできませんが、このような感激できるような大会になればと夢見ています。

ファインダーから見た西日本区大会

クリスチャニティー委員会 福永 君二
区報編集委員会

この度の西日本区大会は、2日目早天礼拝での献金感謝以外は、そのほとんどを区報編集委員として記録写真のファインダーから見せていただきました。これまでの西日本区大会に比べ、若者の姿の多さと参加者の皆さんの喜びに満ちた笑顔が印象に残った大会でした。

実行委員長・伊藤七海メン、熊本市長・大西一史メン、オープニングスピーチをされた代表者、会場運営に力を発揮された熊本YMCA学院の皆さん、鹿児島YMCAチアリーディングチームの皆さん、そして総力を集めてご準備された九州部の皆さんの活力にあふれた姿が、この度の西日本区大会の成功を裏付けていると感じました。

2016年の熊本地震からの力強い復興の姿に感銘を受けた3日間でした。

メネットアワーへの感謝 —*—*—

メネット委員会 森 愛子



第26回西日本区大会メネットアワーも約80名のご参加をいただき盛会に終わることができました。

メネット委員会代表の吉本典子さんの急病により心細さを覚えましたが、メネット委員や熊本のメネットさんたちの手際よい対応で素晴らしいメネットアワーを開催できました。講師の田尻由貴

子様は「命と愛～このとりのゆりかご開設15周年に想うこと～」と題して、その尊いお働きから、命の尊さと愛を語って下さり、皆さん感動され涙ぐんでおられました。

講演後、早速2クラブから講演依頼があったこともお聞きしています。メネットアワーのお手伝いをいただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。

—*—*—

ワイズ将来構想特別委員会 森田 恵三

立派な印象に残る大会でした。何度も大きな催事の企画実行を経験してきた者として、田上理事と上村書記の感激と安堵感は十分拝察できます。やった者しかわからぬ達成感と喜びの渦中にしばらくはゆっくり浸ってください。長年にわたって質量相ともなった会員増強を希求してやまない私の素直な感想です。

◎リーダーたちを巻き込んだ大会参加者への歓迎ぶりは、初めての試みとして若者へのワイズ理解に効果的であり、次年度からはYMCAとの協働のプログラムを織り込んで、ワイズとYMCAのパートナーシップ強化につなげてほしいと希望します。

田上理事の涙に心の思いが痛く響いた大会でした。有難うございました。本当にご苦労様でした。

★★★ 最優秀クラブ賞 ★★★

京都トゥービークラブ

京都グローバルクラブ



受賞に感謝

京都トゥービークラブ
27期会長 新谷 嘉啓

TOBEクラブ25周年の年にふさわしい、光栄な賞を頂けメンバー全員興奮しています。今期は奇跡の年となり多忙を極めましたが、どの事業もこなすだけで無く、常に相手を想い、また斬新なアイデアとセンスで驚かせた、そんなTOBEらしさを評価してもらえたと大変感謝しております。有難うございました。

ワイズ活動を通じ、多くの仲間と協力し事業に取り組み、語り合い、杯を交わし合えたことは、もう一つの人生の大きな財産となりました。関わって下さったすべての皆様に心から感謝します。これからもTOBEらしくセンスとアイデアに満ちた、カッコイイTOBEで在り続けますので、どうぞ宜しくお願いします。

OK！Baby. 最高だぜ！

心から感謝

京都グローバルクラブ
30期会長 久保田雅彦

第26回西日本区大会で京都グローブクラブは22年ぶりに『最優秀クラブ賞』を受賞致しました。30期というクラブの節目の年に、このような素晴らしい賞をいただいたことに心より感謝申し上げます。

『最優秀クラブ賞を取ろう!!』とメンバーに呼び掛けて今期がスタートしました。各事業委員会の活動は活発で、それぞれが大変素晴らしい事業を展開してくれました。また『30周年記念事業カンボジア学校建設プロジェクト』や『30周年記念例会』の成功も相まって、クラブの力を最大限に発揮した1年間になったかと思えます。

そして西日本区大会2日目、『最優秀クラブ賞は京都グローバルクラブ！！』と発表された瞬間、思いがけない出来事に感激と感動、そして涙をこらえながら登壇しクラブを代表して感謝の気持ちを込めてスピーチをさせていただきました。この受賞は今後のグローバルクラブ発展に大きな意味がある受賞だと確信しております。

西日本区役員の方々と、京都部役員の方々と、本当にありがとうございました。

医療秘書科2年 坂本 虹海

私は今回のボランティアに2日間参加しました。

1日目はメインホールの入口での誘導をしました。メインホールの廊下は少し暗かったので、明るい挨拶と相手に見えていなくても笑顔で心がけました。

2日目は熊本城ホールの入口でエスカレーターアテンドをしました。入ってきてすぐに私たちがいるので、病院の受付のように顔になったつもりで、お迎えしました。大きい荷物を持った方や、足の不自由な方はエレベーターに案内し、両手がふさがっているようなら一緒に乗りボタンを押すなど、相手を観察し、臨機応変に対応できるよう心がけました。お帰りの際は、長時間立ちっぱなしで疲れてしまっていたのですが、笑顔で絶やさず、お見送りしました。

たくさんの方々に感謝の言葉をいただき、握手をしてくださる方もいてとてもうれしかったです。頑張った甲斐があったなと感じました。今後につながるような貴重な経験ができたと思います。

医療秘書科2年 四季 明日花

2日間ボランティアに参加して、印象に残ったことは、大会最終日に参加された方々から「ありがとう」や「お疲れ様！」とたくさん声を掛けていただいたことです。慣れないことや大変なこともあったけど、最後に沢山感謝の言葉を掛けてくださって、2日間本当に頑張ってきて良かったなとすごく感じました。

また、このボランティアで、笑顔で挨拶することや、グループ内で情報を共有すること、臨機応変に対応することなど、基本的なことを改めて学ぶことができ、医療秘書で学んだことを実践できた貴重な経験だったなとおもいました。

医療秘書科1年生

エレベーターとエスカレーターの誘導を行ったのですが、キャリーケースを持たれている方を主にエスカレーターに誘導したりと臨機応変に対応することができたり、挨拶をすると笑顔で「お疲れ様です。」「ありがとう。」と言ってくれる方が多く、うれしい気持ちになり、やりがいも感じました。

医療秘書科1年生

この2日間で印象に残ったことはお客様が話されていた敬語です。普段から使われているのだろうなと思うほど綺麗で流暢な敬語だったので、自分もきれいな敬語が使える大人になりたいと思いました。



ホテル観光科2年 金丸 翔海

ワイズメンズクラブ西日本区大会お疲れさまでした。私は2日間参加して初日はエスカレーターのアテンドと表彰の補助、2日目は表彰の補助とお客様のお見送りをしました。上村先生が昨年の6月ぐらいからワイズメンズクラブ西日本区大会のお話をされていて、1年前から計画をして行うほど大切な大会だということを知っていたので、一生懸命取り組ませていただきました。

表彰の補助は、表彰状と盾を黒盆に入れて行いました。黒盆を持つ経験がなかったので最初はとても緊張しましたが、回数を重ねるごとに自信がつき、堂々と立ち振る舞うことができるようになりました。私は表彰担当だったので舞台袖でワイズメンズクラブ西日本区大会を見させていただきましたが、2日目の最後のあいさつで田上理事や伊藤実行委員長が涙ながらにワイズメンズクラブや今回の西日本大会に対する思いを話されているのを見て、2日間しか関わっていない私も感極まりました。

上村先生、1年間ワイズメンズクラブ西日本区の書記の職務、お疲れさまでした。今回のワイズメンズクラブ西日本区大会に参加して励ましの言葉や感謝の言葉をたくさんいただき、ワイズメンズクラブの方々の温かさを感じました。この度はワイズメンズクラブ西日本区大会のボランティアに参加させていただき本当にありがとうございました。この経験を今後の学校生活や就職後に生かしていきたいと思います。

ホテル観光科2年 宮崎 虹花

私は、外でワイズメンズクラブの旗をもって、ワイズメンズクラブの方がお見えになったら受付の場所にご案内する仕事とエスカレーターの補助の仕事を行いました。ワイズメンズクラブの方なのか判断するのが難しかったですが、スーツについているバッジを見たりしながら、受付の場所の案内をした際に、「わざわざ丁寧に教えてくれてありがとう」と言ってもらい、とてもうれしかったです。

卒業して、就職した場所でお客様に満足していただけるサービスを行えるように頑張りたいと改めて思いました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



～スタッフ & 裏方編～

第1プログラム委員長を拝命して

第1プログラム委員長 桑原純一郎

昨年の8月、西日本区大会実行委員会に初めて出席したら、みなみクラブが第1プログラム担当で、会長が委員長だと告げられた。頼まれたから「よろこんで」とワイズ魂で引き受けたが、「大丈夫かい？」と心配する仲間もいた。「大丈夫じゃないよ・・・」かつての大会で設営運営委員会は経験があったが第1プログラムは初めてだ。前回の資料を基にシナリオ案を書いて、プログラムの流れを想像しながら訂正を繰り返し、半年前から司会者原稿を書いて何度も書き直した。ホールの舞台照明担当者に提出する舞台配置図を作り何度も書き直した。最終案を提出できたのはリハーサルの後だった。最後まで悩み続けて書き直したが当日まで変更された。何事もシナリオ通りにはいかないものだと悟ったが、それでも結果オーライだった。

— * — * —

音響担当 守田 富男

西日本区大会の主役は、一年間、それぞれの部やクラブで活躍された部長、会長です。熊本城ホールという大きなステージで一人一人が主役となる大会をどのように演出するか思いあぐねていたところ、クラブ例会に毎月招待しているユースから「お手伝いすることはないですか」と電話があり、ビデオカメラを使ったステージが実現しました。

裏方として、バックステージから大会の全てを眺めたことは、ユースにとって貴重な体験となったはずです。



西日本区大会に参加して — * — * —

西日本区事務所 坂本 千春

私の西日本区大会はいつも裏方での作業です。毎年、万全の準備(?)をして会場に入のですが毎回いろんなイレギュラーな問題が発生します。今回もいくつかの問題が発生しましたが終わってみれば一つ一つが良い経験となり笑い話になります。今回熊本の会場は素晴らしい会場でしたが、とにかく広く会場内を幾度となく走り回り、何万歩…歩いた(走った)ことか!

引継ぎ式の田上理事の涙では、思わずこちらもらい泣きしてしまいました。ほんとに心に残る素晴らしい大会でした。田上理事期スタッフの皆さん、一年間ご一緒できて楽しかったです。ありがとうございました。

— * — * —

事務局員
チャージング会長通訳 前田 香代子

アジア太平洋地域会長が区大会に参加するという事で、多くの参加者が私たちは国際協会員であるという実感を得ていただけたのではないのでしょうか。

チャージング会長は、台湾での100周年祝会が西日本区の次期会長・主査研修会と重なったことをとても気にしておられました。今回、区大会で多くのワイズメン、メネットと交流できたことで少し気持ちが落ち着かれたことでしょう。

次次年度、彼が国際会長になることで、私たちももっと国際を身近に感じていけるのではと期待しています。素晴らしい区大会だったと絶賛してくれました。皆さん、本当にお疲れさまでした。



西日本区大会実行委員会

西日本区大会を終えて —*—*—

第26回西日本区大会実行委員会
委員長 伊藤 七海

この度は、第26回西日本区大会へご参加いただきましたことに心より感謝申し上げます。大会終了後、皆様から「よかったよ！」「感動した！」と温かいお言葉をいただき、苦勞が報われた喜びに満たされました。感謝の気持ちでいっぱいです。

初めて田上理事から大会の話を知った時は、実行委員会の重要性についてはあまり気付いていませんでした。しかし、1年半にわたって、西日本区大会成功を目指して実行委員会を開催し、多くの話し合いを重ねていく中、さまざまな場面で運営に携わるみんなの努力を目の当たりにし、実行委員長としての責任の重さを強く感じるようになりました。



不慣れな私でしたが、みんなの協力と助言によって支えられて大会を運営したこの経験は、今後の人生に大いに役立つものになると思っています。

ご参加下さいました多くのワイズメンの方々、在熊ワイズメンの方々、そして、実行委員会の仲間、本当にありがとうございました。

—*—*—

第26回西日本区大会実行委員会
副委員長 森 博之

今回の私のミッション、一つは大会会場を熊本城ホールにしたこと。会場使用料が相当高くなるので、実行委員会は当初から経費節約ということで、イベント会社を使わず手作りでの演出にこだわりました。幸い、映像と音響は八代クラブの守田ワイズがプロ仕様での対応、加えて熊本五福クラブの亀浦ワイズがYouTubeでのライブ配信もしていただき、これまでの大会に全く遜色無い演出になったのではないかと思います。



もう一つは、懇親会でくまモンの出演を実現すること。ほぼ確実なルートで依頼していましたが、なかなか正式決定の連絡が無いので実行委員会で状況を聞かれるのがプレッシャーになっていました。大会のちょうど1か月前に「くまモン隊」からの出演決定の電話をいただいた時には、思わずガッツポーズでした。

それから裏ミッションとして、田上理事を泣かすこと。これは大会最終日のおりで、達成感でいっぱいです。

編集長より

急なお願いにも関わらず、原稿が沢山集まりました。皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

参加が叶わなかった皆さまにも、第26回西日本区大会の様子が脳裏に浮かび、共に素敵な余韻に浸って頂ければ幸いです♪ (上村眞智子)

